



2025年度 第3四半期 決算補足説明資料

2026年1月29日

南海電気鉄道株式会社（東証プライム市場 9044 <https://www.nankai.co.jp/>）

2025年度 第3四半期 決算概要

1. 業績ハイライト

(単位：百万円)

	2025/3Q 実績	2024/3Q 実績	増減額	増減率
営業収益	195,392	187,114	8,278	4.4%
営業利益	34,171	29,206	4,965	17.0%
営業外収益	2,627	4,241	△ 1,613	△ 38.0%
営業外費用	3,645	2,822	822	29.1%
経常利益	33,154	30,624	2,529	8.3%
特別利益	404	9,268	△ 8,863	△ 95.6%
特別損失	326	10,615	△ 10,288	△ 96.9%
親会社株主に帰属する 四半期純利益	22,258	20,210	2,047	10.1%

【営業収益及び各段階の利益は過去最高】

<主な増減理由>

- ・大阪・関西万博の効果やインバウンド需要の拡大等による運輸業での輸送人員の増加や、前年度に子会社化した明光バス（2024年10月）、通天閣観光（2024年12月）の寄与もあり増収増益
- ・前年同期の特定目的会社からの配当金受領の反動減があるものの、営業増益が寄与し経常増益

2. セグメントの構成状況 (2025年12月末現在)

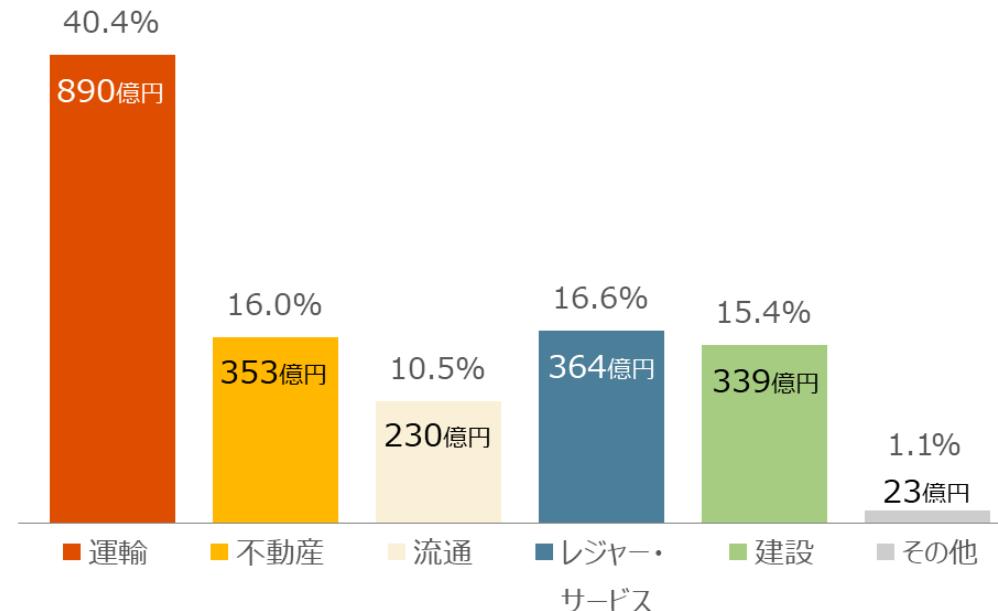
【連結子会社53社・非連結子会社20社・持分法非適用関連会社6社】

増減 (対2025年3月末): 連結子会社の減少 1社、非連結子会社の増加 3社

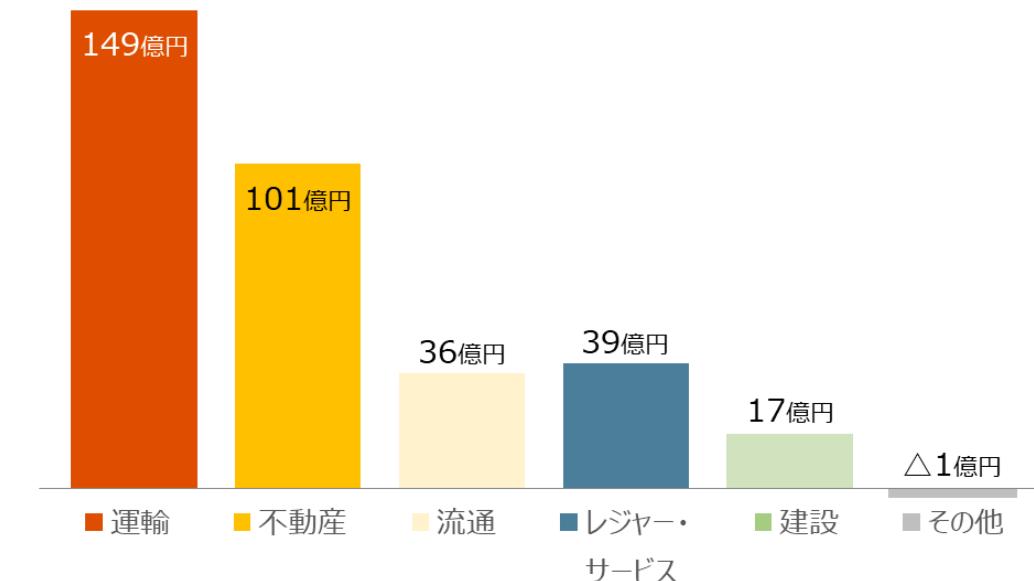
運輸業 (35社)	不動産業 (4社)	流通業 (9社)	レジャー・サービス業 (21社)	建設業 (4社)	その他の事業 (10社)
--------------	--------------	-------------	---------------------	-------------	-----------------

※ 当社は運輸業、不動産業、流通業、レジャー・サービス業に重複して含まれております。

【セグメント別営業収益】



【セグメント別営業利益】

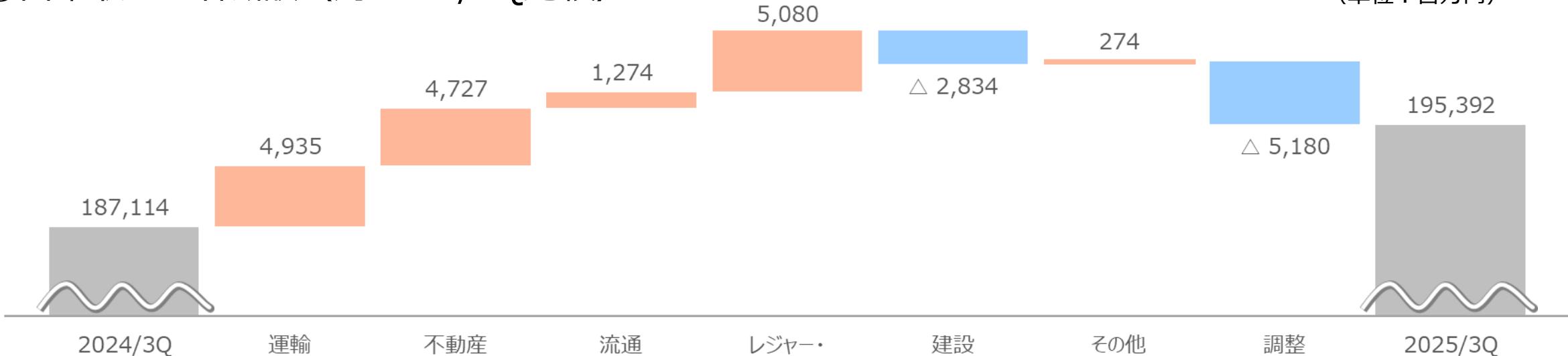


※ 構成比 : セグメント間取引を含む営業収益に対する比率

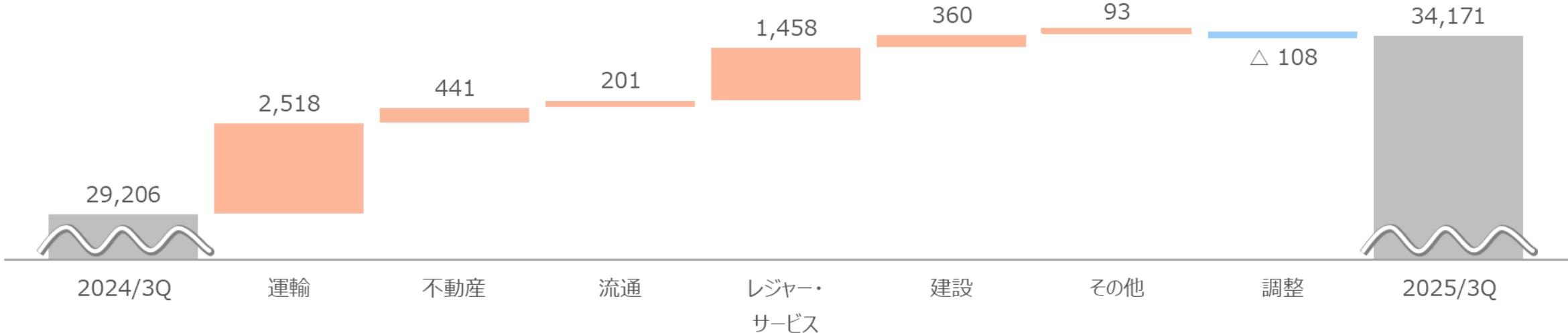
2. セグメント別営業収益・営業利益

① 営業収益の増減額（対2024/3Q比較）

(単位：百万円)



② 営業利益の増減額（対2024/3Q比較）



2. セグメント別営業収益・営業利益

(単位：百万円)

	営業 収 益				営業 利 益			
	2025/3Q 実績	2024/3Q 実績	増減額	増減率	2025/3Q 実績	2024/3Q 実績	増減額	増減率
運輸業	89,051	84,116	4,935	5.9%	14,958	12,440	2,518	20.2%
不動産業	35,362	30,634	4,727	15.4%	10,122	9,680	441	4.6%
流通業	23,056	21,781	1,274	5.9%	3,623	3,422	201	5.9%
レジヤー・ サービス業	36,467	31,387	5,080	16.2%	3,940	2,481	1,458	58.8%
建設業	33,993	36,827	△ 2,834	△ 7.7%	1,706	1,345	360	26.8%
その他の事業	2,348	2,073	274	13.3%	△ 180	△ 273	93	-
調整額	△ 24,887	△ 19,706	-	-	0	108	-	-
合計	195,392	187,114	8,278	4.4%	34,171	29,206	4,965	17.0%

2. セグメント情報（運輸業）

(単位：百万円)

運輸業	2025/3Q 実績	2024/3Q 実績	増減額	増減率
営業収益	89,051	84,116	4,935	5.9%
鉄道事業	55,340	54,577	762	1.4%
バス事業	21,598	18,633	2,965	15.9%
その他の運輸業	17,098	16,244	853	5.3%
調整額（セグメント内）	△ 4,986	△ 5,340	—	—
営業利益	14,958	12,440	2,518	20.2%
主な内訳	鉄道事業	10,091	408	4.0%
	バス事業	2,683	1,444	53.8%

＜主な増減理由＞

- ・大阪・関西万博の効果に加えて、万博終了後もインバウンド需要が堅調に推移したこともあり、鉄道事業及びバス事業における輸送人員が増加したことや、2024年10月に子会社化した明光バスの寄与もあり増収増益

2. 鉄道旅客収入及び輸送人員表（泉北線を含む）

(単位：百万円・千人)

全線（既設線+空港線）			2025/3Q 実績	2024/3Q 実績	増減	増減率
旅客収入	定期	外	34,134	32,401	1,733	5.3%
	定期	期	18,966	19,254	△ 288	△ 1.5%
	合計		53,100	51,655	1,445	2.8%
輸送人員	定期	外	80,891	77,219	3,672	4.8%
	定期	期	107,294	105,807	1,487	1.4%
	合計		188,185	183,026	5,159	2.8%
既設線			2025/3Q 実績	2024/3Q 実績	増減	増減率
旅客収入	定期	外	24,115	23,332	783	3.4%
	定期	期	17,705	18,092	△ 387	△ 2.1%
	合計		41,820	41,424	395	1.0%
輸送人員	定期	外	69,241	66,737	2,504	3.8%
	定期	期	103,360	102,211	1,149	1.1%
	合計		172,601	168,948	3,653	2.2%
空港線			2025/3Q 実績	2024/3Q 実績	増減	増減率
旅客収入	定期	外	10,018	9,068	950	10.5%
	定期	期	1,260	1,162	98	8.5%
	合計		11,279	10,230	1,049	10.3%
輸送人員	定期	外	11,650	10,482	1,168	11.1%
	定期	期	3,934	3,596	338	9.4%
	合計		15,584	14,078	1,506	10.7%

2. セグメント情報（不動産業）

(単位：百万円)

不動産業	2025/3Q 実績	2024/3Q 実績	増減額	増減率
営業収益	35,362	30,634	4,727	15.4%
不動産賃貸業	27,307	26,177	1,130	4.3%
不動産販売業	8,160	4,583	3,576	78.0%
調整額（セグメント内）	△ 105	△ 126	—	—
営業利益	10,122	9,680	441	4.6%
主な内訳	不動産賃貸業	9,711	40	0.4%
	不動産販売業	93	279	299.9%

＜主な増減理由＞

- ・不動産賃貸業は、大阪・関西万博の効果やインバウンド需要の拡大等によりホテル物件が好調に稼働したこと等により增收増益
- ・不動産販売業は、第3四半期のマンション分譲が順調に推移したこと等により增收増益

2. セグメント情報（流通業）

(単位：百万円)

流通業	2025/3Q 実績	2024/3Q 実績	増減額	増減率
営業収益	23,056	21,781	1,274	5.9%
ショッピングセンターの経営	12,058	11,795	262	2.2%
駅ビジネス事業	12,225	11,193	1,031	9.2%
その他の流通業	162	166	△ 4	△ 2.6%
調整額（セグメント内）	△ 1,389	△ 1,374	—	—
営業利益	3,623	3,422	201	5.9%
主な内訳				
ショッピングセンターの経営	2,048	2,071	△ 22	△ 1.1%
駅ビジネス事業	1,622	1,394	228	16.4%

＜主な増減理由＞

- ・ショッピングセンターの経営は、売上が好調に推移し賃貸料収入が増加したこと等による増収の一因、当四半期では修繕費が増加した影響もあり利益はほぼ前年並み
- ・駅ビジネス事業は、コンビニエンスストアの売上が好調に推移したこと等により増収増益

2. セグメント情報（レジャー・サービス業）

(単位：百万円)

セグメント	2025/3Q 実績	2024/3Q 実績	増減額	増減率
営業収益	36,467	31,387	5,080	16.2%
ビル管理メンテナンス業	20,222	18,007	2,214	12.3%
その他のレジャー・サービス業	17,764	14,789	2,975	20.1%
調整額（セグメント内）	△ 1,519	△ 1,409	—	—
営業利益	3,940	2,481	1,458	58.8%
主な内訳	ビル管理メンテナンス業	933	588	345
				58.8%

＜主な増減理由＞

- ・ビル管理メンテナンス業は、新規受注によるビルメンテナンス収入の増加等により増収増益
- ・その他のレジャー・サービス業は、2024年12月に子会社化した通天閣観光の寄与や、ボートレース施設賃貸業における開催日数の増加や好調な売上等により増収増益

2. セグメント情報（建設業 / その他の事業）

(単位：百万円)

建設業	2025/3Q 実績	2024/3Q 実績	増減額	増減率
営業収益	33,993	36,827	△ 2,834	△ 7.7%
建設業	34,000	36,835	△ 2,835	△ 7.7%
調整額（セグメント内）	△ 7	△ 7	—	—
営業利益	1,706	1,345	360	26.8%

＜主な増減理由＞ 完成工事高の減少等による減収の一方、利益率の向上等により増益

(単位：百万円)

その他の事業	2025/3Q 実績	2024/3Q 実績	増減額	増減率
営業収益	2,348	2,073	274	13.3%
その他の事業	2,363	2,089	274	13.1%
調整額（セグメント内）	△ 15	△ 15	—	—
営業利益	△ 180	△ 273	93	—

3. 営業外・特別損益の状況

(単位：百万円)

	2025/3Q 実績	2024/3Q 実績	増減額	摘要
営業外収益	2,627	4,241	△ 1,613	
受取利息	44	14	29	
受取配当金	1,735	3,753	△ 2,018	前年同期：特定目的会社からの配当金 他
雑収入	848	473	374	
営業外費用	3,645	2,822	822	
支払利息	3,054	2,385	668	
雑支出	591	437	153	
特別利益	404	9,268	△ 8,863	
工事負担金等受入額	290	8,894	△ 8,604	前年同期：高石市内連続立体交差化工事 他
その他	114	373	△ 259	
特別損失	326	10,615	△ 10,288	
工事負担金等圧縮額	280	8,890	△ 8,609	前年同期：高石市内連続立体交差化工事 他
その他	45	1,724	△ 1,678	前年同期：物流施設における固定資産除却損 他

4. 資産、負債及び純資産の状況

(単位：百万円)

	2025/3Q末	2024年度末	増減額	主な増減理由												
流動資産	124,081	120,200	3,881	<ul style="list-style-type: none"> ● 流動資産 <ul style="list-style-type: none"> ・商品及び製品の増加 ・受取手形、売掛金及び契約資産の減少 												
固定資産	899,325	860,814	38,511	<ul style="list-style-type: none"> ● 固定資産 <ul style="list-style-type: none"> ・建設仮勘定の増加 ・時価上昇等に伴う投資有価証券の増加 ・減価償却等に伴う建物及び構築物の減少 												
資産合計	1,023,407	981,014	42,392	<ul style="list-style-type: none"> ● 負債 <ul style="list-style-type: none"> 【有利子負債残高】 												
負債合計	675,947	651,149	24,798	<table border="1" data-bbox="1607 807 2240 990"> <caption>(単位：億円)</caption> <thead> <tr> <th></th> <th>2025/3Q末</th> <th>2024年度末</th> <th>増減額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>有利子負債</td> <td>4,573</td> <td>4,329</td> <td>244</td> </tr> <tr> <td>純有利子負債</td> <td>4,195</td> <td>3,901</td> <td>294</td> </tr> </tbody> </table>		2025/3Q末	2024年度末	増減額	有利子負債	4,573	4,329	244	純有利子負債	4,195	3,901	294
	2025/3Q末	2024年度末	増減額													
有利子負債	4,573	4,329	244													
純有利子負債	4,195	3,901	294													
純資産	347,459	329,865	17,594	<ul style="list-style-type: none"> ● 純資産 <ul style="list-style-type: none"> ・親会社株主に帰属する四半期純利益 ・その他有価証券評価差額金の増加 ・自己株式の取得 ・剰余金の配当 												
負債純資産合計	1,023,407	981,014	42,392													

※2025年度第2四半期（中間期）において、企業結合に係る暫定的な会計処理の確定を行っており、2024年度実績の数値についても、その内容を反映しております。